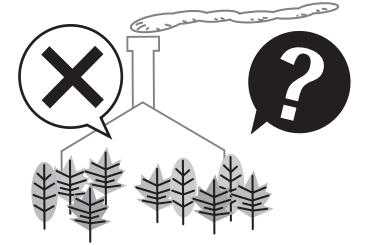


# 候補地の「確認調査」には こんな問題がある！



広域連合による候補地・飯森の『確認調査』が 2/1 に始まり、ごみ連協では 6 日に現地視察を行いました。姫川河床の活断層露出部のすぐ西側をボーリング中で、「副断層が候補地方向に延びているかどうかを確認し、月内には分析結果を公開し、それをもとに住民説明会を開きたい」と行政から説明がありました。様々な質疑がありましたが、私たちは「活断層の問題は白紙撤回の理由の一部であり、確認調査の必要性は理解できない」と伝えました。

村民のみなさん、分析結果のいかんにかかわらず、この確認調査には次のような問題があります。

## 活断層だけが問題か!?

この確認調査は、連合が候補地・飯森にごみ処理施設を建てる上での問題は、活断層の問題しかないように考えているのではと思わせます。たしかに活断層は大きな問題です。しかし、問題はそれだけではありません。たとえば、日本有数の大自然をいただく白馬村の玄関口に、ごみ処理施設を建てることの問題です。観光立村をうたう本村の政策とはまったく相容れないのではないのでしょうか。

## 調査は住民との約束違反

連合は、住民説明会で繰り返し次のように言ってきました、「測量・地質調査についての合意をいただいた上で、・・・調査に入る」と。ボーリングは測量ですし、重機で地層の方向を確認する作業は地質調査です。今回の調査は、住民との約束違反になるのではないのでしょうか。

## 活断層が真下になれば安全か

連合は、活断層から 50 メートル離せば安全だと言ってきました。昨年夏の中越地震での被害～「安全な場所に建てられたはず」の柏崎刈羽原子力発電所の被害状況を思い出してください。震源から 23 km も離れた場所にも関わらず、あの被害です。

候補地から 50 メートル、いや 100 メートル離れていようと、**活断層の存在が専門家の常識**になっている以上、建設を進めるのは危険です。候補地から外すべき場所です。いったい何のための調査なのでしょう。調査はおよそ 160 万円。税金の無駄遣いではないのでしょうか。

みなさん、こうした問題をかかえた「確認調査」です。  
そもそも初めから「候補地」としてはふさわしくない場所を選定した理由が理解できません。  
建設計画そのものをいったん中止し、広く住民の意見を聞きながら検討しなおすべきです。



白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会ニュース

発行：白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会（会長：宮田温巳）  
白馬村北城八方口5897-1（たきみや）

<事務局> TEL：0261-72-2527 FAX：0261-72-4344

皆様の一層のご支援をお願いいたします！

カンパ振込先：八十二銀行白馬支店 普通口座：137464 名義：ハクバゴミモンダイカンパ

ごみ問題の1年・これからの課題

(仮題)

日時：2/27(水) 19:00～21:00

場所：ふれあいセンター 2F

ミニコンサートもあり！ 主催：ごみ連協